

銘傳大學 100 學年度研究所碩士班招生考試

應用日語學系碩士班

第二節

日文翻譯試題

(第 1 頁共 2 頁) (限用答案本作答)

可使用計算機 不可使用計算機

(一) 中翻日 (40%)

- 1) 本文先針對日語能力測驗(以下簡稱日檢)對臺灣各界的影響做一說明,進而站在日語主修之應用日語系(以下簡稱應日系)的觀點,分析探討日語能力測驗對應日系的課程與教學所帶來之影響。並對兩者之間的相互關係提出建言。

分析結果得知:

1. 日檢提供了臺灣日語教育界一項檢測日語能力的明確基準,對提升學習動機及教學內涵的改進亦有助益,是一項被社會大眾接受且信賴的考試。
2. 但是,日檢的風潮也使得多元的日語教育傾向一元化,考試領導教學的現象,容易忽視學習外語的樂趣與異文化的學習。此外,說寫技能不在檢測範圍內,一年只靠一次使得其功能受限制,也是值得注意的現象。
3. 了解了日檢的能與不能之後,應日系的教育者應重新省思自己的系目標以及各課程目標,將能力與學力的評量融合應用。在重視日檢的同時,又能兼顧自己目標的理想狀態。日檢無法檢測的說,寫,譯的技能也不容忽視。(20%)

(林長河·呂惠莉「日語能力測驗與應用日語系的課程及教學」『外國語文研究第7期』)

- 2) 隨著網路規模快速擴大,上網成本及費用下降,設備性能,傳輸速度的提升,網路應用技術似已具備普及的可能性。在這種情況下,問題的焦點似乎可以轉移到如何將網路技術,和日語教育進行大融合。

我們不妨回顧日語教育的母體,日本到底是怎麼發展的,再回過頭來思考我們自己的方向。

本文試圖整理臺灣日語教育網站的發展狀況,然後引介日本官方全方位的計劃。這些計劃下產生了幾個完整的網站,但我們關心的不只在這些成果是怎麼發展出來的。我們更注意發展背後的一些思想上的改變。這種思維仍然要回歸到電腦網路與教育之間的關係究竟為何上。最後,我們將試圖找出臺灣日語教育在結合電腦網路與教學上還有什麼空間可以努力。(20%)

(吳明穗「日本語教育網站的發展:日本與臺灣」『銘傳日本語教育』第7期)

(二) 日翻中 (60%)

- 1) 日本ではこの冬、ニワトリや野鳥が鳥インフルエンザに感染する事例が相次ぎました。

1月に養鶏場内のニワトリが死んでいるのが見つかり、検査で陽性反

本試題兩面印刷

銘傳大學 100 學年度研究所碩士班招生考試

應用日語學系碩士班

第二節

日文翻譯試題

(第2頁共2頁)(限用答案本作答)

可使用計算機 不可使用計算機

応が出た宮崎県では、自衛隊員など 200 人が出動し、4 万羽のニワトリを殺処分を終了しました。このように、感染が見つかった各地域ですばやい対応を取っていますが、渡り鳥が日本各地に運んだウイルスをネズミやスズメなどが鶏舎内に持ち込んでいる可能性もあり、感染を完全に食い止めるのは難しいのが実情だといえます。

感染が多発しているのを受けて、消費者庁は会見を開き、「鳥インフルエンザのウイルスは酸や熱に弱く、感染した肉を食べても人に感染することはない。」と説明し、国民に冷静な対応を呼びかけました。(20%)

- 2) 宮城県は、性犯罪で服役後出所した県内在住者に、GPS (全地球測位システム) による行動監視は日本国内では前例がなく、条例が制定されれば全国初となりますが、基本的人権を制限することにも繋がるため、県内外で議論を呼んでいます。

宮城が監視の対象として検討しているのは、強姦、強姦致死傷などの罪で服役し、出所後も再犯の可能性が高いと判断された人物や裁判所から被害者への接近が禁止された。ドメスティックバイオレンスの加害者などです。

性犯罪は他の犯罪と比べて再犯率が高いとされていることから、GPS の再犯抑止効果に期待する声がある一方で、条例は県外では効力がないため、前歴者を他県へ追いやってしまう可能性がある。服役を終えた者に二重刑罰を科すことになる、などの理由で条例の制定に反対する意見もあります。(20%)

- 3) 昨年 2010 年は「電子書籍元年」と言われ、12 月初旬に、NEC ビッグロブの「スマーティア (Smartia)」、シャープの「ガラパゴス GALAPAGOS)」、ソニーの「リーダー(Reader)」など、大手電気メーカーから、電子書籍を読むことができる機器 (電子書籍端末) 続々と発売されました。

実は、日本の電気メーカーは過去にも何度か電子書籍端末を発売したことがありますが、どれも販売中止という結果に終わっていました。失敗の原因は「せっかく端末を買っても、読める本 (コンテンツ) が少ない」ということでした。しかし、昨年は、米アップル社の「iPad」のヒットを受けて、各出版社や書店などが、こぞって電子書籍事業に参入し、コンテンツを提供し始めたことが今とは異なる点です。紙の本と比べると目が疲れやすい、ファイル形式が統一されていない、書籍の電子化にまつわる権利関係が複雑、などなど、解決すべき課題はまだありますが、電子書籍時代への流れは今後も止まりそうにありません。(20%)

試題完

本試題両面印刷

試題完